



角島大橋の開通で救急医療体制が充実

適切な応急処置が可能となり救命率が向上

- ・平成12年11月、角島大橋が開通し、本土にある最寄りの消防署から角島まで約15分で救急車が到着可能に。
- ・脳・心疾患といった重篤患者への適切な応急処置が可能となり、救命率が向上。
- ・開通前後の応急処置までの時間

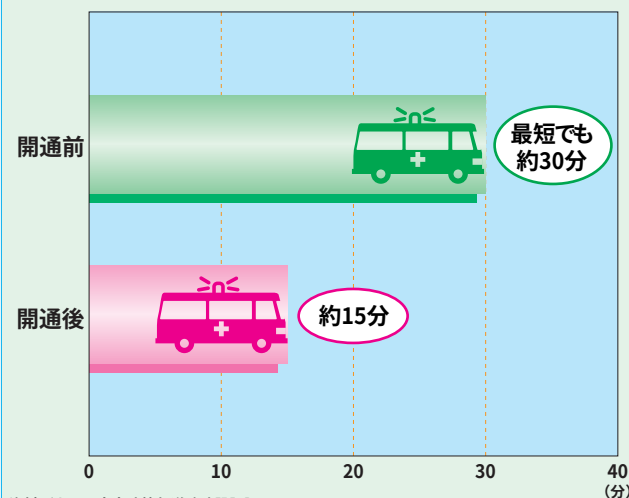
開通前：約30分～数時間

（本土へは船で行くため夜間などは数倍の時間がかかる）

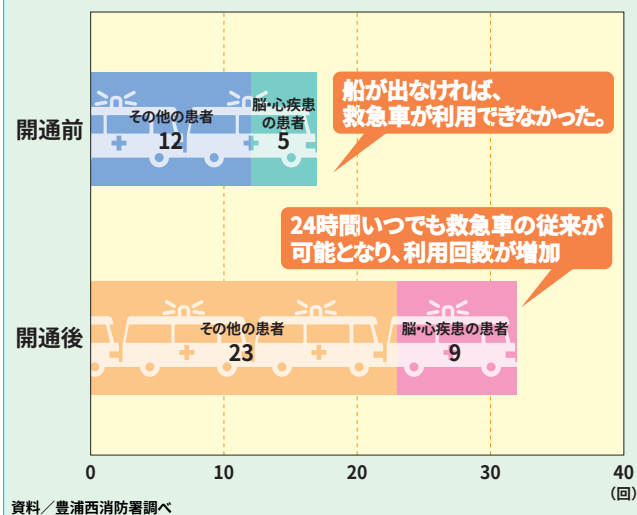
開通後：約15分

- ・これまでの船での搬送と異なり、開通後は揺れなど患者への負担が少なくなった。
- ・夜間、早朝、天候に左右されず24時間いつでも救急車が島に来られるようになった。

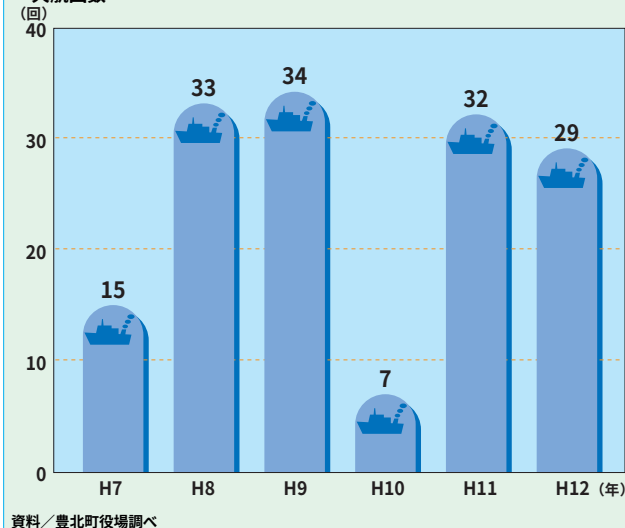
- 24時間いつでも約15分で救急車が到着
応急処置までの対応時間



- 救急車の出動回数が約2倍に！
角島への救急車出動回数の比較



- 気象条件により船が欠航
欠航回数



- 開通した角島大橋



資料／山口県